消臭プラス

まちぶせ効果で侵入防止 最大2カ月*1

ダニよけ効果 最大1カ月*2

◀説明書はこちら

*1:アリ、ムカデ、クモ、カメムシに対する待ちぶせ殺虫効果。使用環境により異なります。

*2:使用環境により異なります。

製品情報はこちら Scan here 扫一扫

1回使い切りタイプ

お部屋の虫キラー1発ジェット

使用説明書

使用に際しては必ず製品表示を読み、充分理解した上で使用してください。

※必要に応じて読めるよう、この説明書を保管してください。

【有効成分等】エトフェンプロックス、エタノール、LPガス、その他2成分

【適用害虫】殺虫効果:コバエ(48種)、ユスリカ(1種)、ムカデ(1種)、カメムシ(13種)、アリ(14種)、シロアリ(1種)、ハチ(4種)、アブ(2種)、ガ(8種)、クモ(10種)、ゴミムシ(2種)※各適用害虫における効果確認済み種に関する情報は二次元コードまたは当社ホームページより製品情報をご確認ください。

侵入防止効果:ムカデ、クモ、カメムシ、アリ

【内容量】100mL

フマキラー株式会社

〒101-8606 東京都千代田区神田美倉町11

[お客様相談室] ☎0077-788-555 ☎03-3255-6400

①

事前準備

1 湯沸し器の種火やヒーター等を消し、ガスの元栓を閉めてください。換気扇およびエアコンを止め、部屋の戸、障子、窓等を閉め、できるだけ部屋を密閉してください。押入れ、戸棚、引き出し等害虫のいそうな所は開放してください。

2 ガス警報器やガスと火災の両方を感知する複合型報知器は、ポリ袋等で覆い、薬剤(霧)が入らないように周囲をテープ等で目張りしてください。下の表の通りに準備してください。

ペット、観賞魚および水棲生物等の水槽や昆虫の飼育カゴなど	必ず部屋の外に出してください。(移動できない大型水槽のある部屋では使用しないでください)
飲食物、食器、おもちゃ、衣類、飼料	他の場所に移すか、ポリ袋等で覆ってください。
精密機器(テレビ、パソコン、ゲーム機器、オーディオ、ディスク、磁気テープ)、楽器	ポリ袋等で覆ってください。
透明のプラスチック製品(照明器具等)、仏壇・仏具、美術品、観葉植物	
壁、クロス、カーテン、ニス等の塗装面	薬剤(霧)が直接かからないようにしてください。

使用方法

1 本品を部屋の中央の床に置き、ストッパーを抜いてください。火災報知器(煙を感知するタイプ)には直接霧があたらない位置で使用してください。霧が直接あたると火災報知器が作動することがあります。

2 ボタンを手前にして噴射口を身体に向けないように置いてください。かかとを浮かし足の指で、真上からカチッと音がして固定される位置まで、ゆっくりとボタンを踏むか、手で押して作動させてください。(一度押すと全量噴射されます)ボタンを押すと同時に薬剤(霧)が噴射し始めます。噴射開始後、直ちに退室してください。(噴射時間約70秒)

※噴射口の真上に顔を近づけないように注意してください。

3 本品を使用した後、1時間部屋を閉め切った状態にしておいてください。この間、部屋に入ることは避けてください。

使用後

本品の使用後は、部屋を充分に換気してから入室してください。その後で、必ずガス警報器や複合型報知器にかけた覆いを取ってください。

害虫駆除のアドバイス

お使いの際は、全部屋一斉の害虫駆除が効果的です。また、ふとんの天日干しやお部屋の掃除を併せて行うとより効果的です。

【使用上の注意】●定められた使用方法を必ず守り、使いすぎないようにすること。●人体に向けて噴射しないこと。また、薬剤(霧)を吸入しないよう注意すること。●アレルギー症状やカブレ等を起こしやすい体質の人、妊婦等は薬剤(霧)に触れないようにすること。●万一、身体に異常を感じた場合は、直ちに本品がピレスロイド様の殺虫剤であることを医師に告げて診療を受けること。●本品は可燃性ガスを使っているので、火気には充分注意し、特にガス湯沸器の種火やヒーター等は必ず消し、ガスの元栓を閉めること。引火・爆発の恐れがあります。●ガス警報器やガスと火災の両方を感知する複合型報知器は、噴射ガスに反応し、警報器が鳴ることがあるので、ポリ袋等で覆い、テープ等で周囲を目張りすること。目張りが充分でないと警報器が鳴ることがあります。使用後は、必ず覆いを取ること。●集合住宅等の集中管理方式のガス警報器や火災報知器の場合は、住宅管理者と相談の上使用すること。●飲食物、食器、おもちゃ、衣類、飼料等には薬剤(霧)がかからないようにすること。●ペット、観賞魚および水棲生物等の水槽や昆虫の飼育カゴ等は、あらかじめ他の場所へ移し、薬剤(霧)がかからないようにすること。特に、観賞魚などの魚類にはかからないように充分注意すること。●透明のプラスチック製品(照明器具等)、仏壇、仏具、美術品、観葉植物はポリ袋等で覆うこと。しみ、変色の原因となることがあります。●壁、クロス、カーテン、ニス等の塗装面、家具等は薬剤が直接かからないようにすること。しみ、変色の原因となることがあります。●精密機器(パソコン、ゲーム機器、オーディオ、ディスク、磁気テープ)、楽器は、ポリ袋等で覆うこと。(大型コンピュータ等のある部屋では使用しないこと)●部屋はできるだけ密閉して使用すること。●本品は、必ず立てた状態で部屋の中央に置き、空間の広い方向に噴射方向を示す矢印を向けて使用すること。●2つの噴射口が身体に対して平行になる(噴射口を身体に向けない)ように置くこと。ボタンを押すと同時に左右の噴射口から斜め上に薬剤(霧)が噴射するので、顔にかからないように注意すること。●キャップがはずれた場合は、使用を中止すること。●薬剤が出はじめたら、必ず部屋から外に出ること。使用中は入室を避け、1時間後に充分換気してから入室すること。●薬剤が皮膚に付いたときは、直ちに石けんで充分洗うこと。また、眼に入った場合は、直ちに充分水洗いし、眼科医の手当てを受けること。●食器等に薬剤がかかった場合は、食器用洗剤等で洗ってから使用すること。●寝具や衣類に直接薬剤(霧)がかかった場合は、天日干しすること。●使用後、火中に投じないこと。

【保管および取扱い上の注意】●小児の手の届かない場所に保管する。●火気や直射日光をさけ、涼しい場所に保管する。●水回りや湿気の多い場所に置かない。●暖房器具(ファンヒーター等)の周囲と高温になる場所、車内等は温度が上がり破裂する危険があるので置かない。

【廃棄の方法】●使用後は使い切ったことを確認し、地域の分別区分に従って廃棄する。